






佐賀県とホストタウン相手国のつながり

 <p>オランダ</p>	<p>約400年前、オランダ東インド会社により有田焼がヨーロッパに輸出され、幕末には佐賀藩がオランダから西洋技術を学び、日本の近代化に大きく貢献しました。</p> <p>近年では、2016年に駐日オランダ大使館とクリエイティブ連携・交流協定を締結し、様々な分野で交流を行っています。</p>
 <p>タイ</p>	<p>映画・ドラマのロケ誘致を積極的に行ったことから、タイにおいて祐徳稲荷神社をはじめ佐賀の認知度が飛躍的に向上しました。</p> <p>今ではタイから多くの観光客が佐賀を訪れ、ロケ地巡りを楽しんでいます。</p>
 <p>ニュージーランド</p>	<p>2015年に世界陸上選手権大会（北京）、2017年にユニバーシアード競技大会（台北）の事前キャンプが県内で行われたことから、東京2020オリンピックでも事前キャンプが決定しました。</p> <p>また、ニュージーランドの名産品であるキウイフルーツ（ゼスプリゴールド）が県内でも生産されています。</p>
 <p>フィジー</p>	<p>県内に在住するフィジー出身のラグビー選手との縁をきっかけとして、同国ラグビーチームとのスポーツ交流を中心とした交流事業を行ってきました。</p>
 <p>フィンランド</p>	<p>2018年11月、フィンランドオリンピック委員会と東京2020オリンピックの事前キャンプ実施について合意したことから本格的な交流が始まりました。</p> <p>複数競技がまとまった代表選手団の佐賀での合宿は初めてです。</p>